

第一號第二號	煉瓦造二階建二棟	建坪	215.07 <sup>坪</sup>	内二階建	203.73 <sup>坪</sup>
第三號	同 平家建	„	64.79		
第四號より第六號	木造平家建三棟	„	70.64		
附屬	木造廊下八ヶ所	„	70.307	内二階建	10.94
合計		„	420.807	„	214.67

以上引繼を受けたる建物は何れも明治初年の建築に係り煉瓦等の品質は良好ならず木材は良質のものあれども又腐朽せる部分も尠からず之を他に移轉し改築するには相當費用を要するのみならず當時當院に於て適當なる使用の途なかりしも民間に於ては事業勃興の際なれば此儘賣却するは却て有利なるべきを以て全部一括して有形の儘賣却し取毀ちの上搬出せしむることとし公告の上大正六年三月二十二日入札せしに入札者は二十名にして最高價格壹萬貳千五百貳拾五圓にて落札し直に取毀に着手同年六月十日を以て全部構外に搬出せり

建物取毀後六年六月十一日高架線用地に相當する地積の立會測量をなし其引繼を受けたる後用地の兩側に延長九十五間の假板扉を設け高架線工事に着手せり其用地の總面積は千〇貳拾四坪一二二なり

## 第四地質

本線路に該當する地質を調査する爲めに施工前敷地内に於て平均百二十尺の距離を以て六拾八個所に於て試鑽をなし尙其内十六個所に就て松杭を打入し其硬軟の程度及び地盤の支持力を試験せり其結果に依り地質の大體を線路縱斷面に沿ふて圖示するときは第二圖の如し即ち本工事起點より外濠を経て西今川町附近に至るまでは零位點前後に於て粘土層あるも其厚さ薄く其以下は砂交り泥土或は同粘土にして其下層に硬き粘土盤あり零位下四十五尺乃至五十尺にして砂利層に達す夫より鍛冶町附近に至るに従ひ上部粘土層は青色の砂交り泥土に變じ幾分柔軟となり鍛冶町大通り附近に於ては殆んど泥土のみにして零位下五十尺乃至六十尺に至らざれば砂層或は砂利層に達せず黒門町より萬世橋に至る間は地質漸次に良好となり零位下五六尺乃至十尺にして粘土層に達し其下層は砂交り泥土或は粘土の堅盤にして零位下四十尺乃至五十尺にして砂或は砂利層に達す

地質は以上の如くなるも基礎杭として必要なる長さ及び支持力を試験せんか爲めに松杭長三間半乃至七間末口六寸乃至八寸以上のものを地質の異なる各所に打込みたり其打込に際し使用せる分銅の重量、最後に於ける落高及び沈降等は次表の如くにして之等の項目に依り「トラウトワイン」公式を用ひ安全率を二とし杭上に支持し得べき安全荷重を計算するときは別表に示すか如く十七八噸乃至四十噸にして平均二十五噸餘なり

上表及び地質圖に就て見るに杭は何れも堅盤に達せざるを以て支持力は専ら杭の周圍表面に於ける土との摩擦力に依るものゝ如し依て杭の地中に入れる部分の表面積を計算し之を安全支持力に對照するに鍛冶町の如き泥土の所に於ては毎平方尺上 500 乃至 600 封度砂交り泥土或は粘土盤に於ては 800 乃至 1500 封度の間にあるか如し

試 験 杭 成 績 表

番 號	所 在	杭長 (尺)	元口徑 (尺)	末口徑 (尺)	分銅重 量(封度)	最終落 差(尺)	打込 回数	杭打込 總長	平均一 回沈降	最終沈 降
1	第二本銀町	30.0	.91	.71	1200	17.	207.	17.60	.085	.015
2	千代田町	21.9	.98	.72	1200	22.	153.	20.97	.137	.06
3	同	32.0	.80	.60	1200	19.	204.	31.74	.155	.05
4	新石町	28.5	1.00	.70	1200	22.	125.	17.65	.141	.02
5	第一鍛冶町	41.3	1.08	.70	1485	20.	393.	22.57	.058	.01
6	同	30.4	.91	.71	1200	22.	106.	27.57	.26	.10
7	第二鍛冶町	41.1	1.20	.72	1485	22.	204.	35.99	.176	.095
8	第三鍛冶町	40.7	1.28	.80	1485	21.	251.	34.41	.137	.035
9	同	34.6	.92	.61	1485	22.	197.	35.40	.179	.09
10	黒門町	32.0	.84	.65	1200	22.	170.	34.00	.200	.09
11	同	33.5	.84	.60	1200	17.	98.	22.87	.233	.02
12	同	21.3	.91	.72	1200	22.	83.	20.24	.244	.055
13	第一小柳町	21.5	1.00	.80	1200	20.	95.	20.71	.218	.052
14	同	21.5	.91	.70	1200	22.	86.	20.41	.236	.03
15	第二小柳町	21.3	.95	.75	1200	20.	99.	23.40	.236	.055
16	同	21.9	.92	.73	1200	22.	94.	20.60	.219	.07

杭尖端 の深	安全荷 重(噸)	地 質	地中に入 りたる杭 の平均徑	杭表面積 (平方尺)	安全荷重に 對する每平 方尺上支持 力
— 8.15	30.07	青色粗砂交り泥土	.77	42.59	1582.
—11.59	23.48	青色細砂交り粘土	.85	55.57	906.
—20.02	23.02	青色砂交り粘土	.7	69.83	738.
—12.04	31.18	青色泥土	.8	44.13	1583.
—20.45	41.39	青色砂交り泥土	.81	57.10	1624.
—23.91	17.58	青色泥土	.8	69.20	569.
—32.46	22.36	青色泥土	.93	105.09	477.
—31.18	33.18	青色泥土	1.01	108.39	686.
—33.10	23.01	青色泥土	.77	83.04	621.
—24.81	18.59	青色泥土	.75	74.88	556.
—15.93	23.62	青色粗砂交り粘土	.68	48.94	1310.
—15.28	23.29	褐色砂交り粘土	.81	51.41	1016.
—18.01	23.07	褐色砂交り粘土	.9	58.20	888.
—15.35	28.43	青色砂及小石交り粘土	.8	51.23	1243.
—17.40	22.57	茶色砂及小石交り粘土	.85	56.87	889.
—13.63	21.02	褐色砂交り粘土	.82	53.15	886.